

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		ヨシ(葦)原管理に歴史的展開に見る半栽培(半自然)の環境ガバナンス			
研究テーマ (欧文) AZ		Historical Process of Reed Field Management and Environmental Governance of Semi-domestication (Semi-nature)			
研究氏 代表 者	カナ CC	姓) ミヤウチ	名) タイスケ	研究期間 B	2006 ~ 2008 年
	漢字 CB	宮内	泰介	報告年度 YR	2008 年
	ローマ字 CZ	Miyauchi	Taisuke	研究機関名	北海道大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		北海道大学・教授			
概要 EA (600字~800字程度にまとめてください。)					
<p>本研究は、半栽培(半自然)(何らかの形で人間の手が加わった自然)の代表例と考えられるヨシ(葦)について、その代表的な群生地である宮城県の北上川河口地域および青森県の岩木川河口地域の事例を調査研究し、そこから、自然環境の適応的管理と社会システムの適応的管理の相互関係を明らかにしようとするものであった。</p> <p>本研究により明らかになったことは以下の諸点である。</p> <p>(1) 地域社会の自然環境管理には、歴史的に培われてきた地域の社会的組織や規制が重要な位置を占めている。</p> <p>(2) 同時に、そうした社会組織や規制は、時代によって順応的に変化してきている。社会全体の変動、地域の生活の変容に順応する形で、誰がどういう組織と規制で地域の自然を管理していくかは、変化している。</p> <p>(3) 近年の新しい問題として、地域社会の内外から、異なる環境観をもったアクターが複数登場しており、コンフリクトを生みかねない事態にある。</p> <p>(4) しかし、一方で、異なる環境をもつアクター同士は、技術的な側面に限った合意が可能であり、そうした順応的なガバナンスが今後必要になってくる。</p> <p>(5) 今後の環境ガバナンスにおいては、社会システムのモニタリング(社会科学的モニタリング)が、生態系のモニタリングと並行して必要である。社会システムのモニタリングには、(a) 地域住民等が地域の自然とどうかかわっているか/どう変化してきているか、(b) 自然にかかわる社会制度や意識がどう変化してきているか、などを含む。</p>					
キーワード FA	順応的管理	社会科学的モニタリング	北上川	岩木川	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}	環境保全政策における「歴史」の再構成——宮城県蕪栗沼のラムサール条約登録に関する環境社会学的考察							
	著者名 ^{GA}	武中 桂	雑誌名 ^{GC}	社会学年報					
	ページ ^{GF}	49~58	発行年 ^{GE}	2	0	0	8	巻号 ^{GD}	37
雑誌	論文標題 ^{GB}	生態系保全における社会的諸条件への考慮のあり方——岩木川下流部のヨシ原を事例とした環境史による提言							
	著者名 ^{GA}	寺林 暁良	雑誌名 ^{GC}	保全生態学研究					
	ページ ^{GF}	~	発行年 ^{GE}	2	0	0	8	巻号 ^{GD}	13(2) 発行予定
雑誌	論文標題 ^{GB}	地域環境管理における技術の合意——ヨシ原管理の事例から							
	著者名 ^{GA}	寺林 暁良	雑誌名 ^{GC}	北海道大学大学院文学研究科 研究論集					
	ページ ^{GF}	~	発行年 ^{GE}	2	0	0	8	巻号 ^{GD}	8 発行予定
雑誌	論文標題 ^{GB}	自然環境の変化と場所の記憶——宮城県北上町大沼の開拓に関する環境社会学的考察							
	著者名 ^{GA}	武中 桂	雑誌名 ^{GC}	北海道大学大学院文学研究科 研究論集					
	ページ ^{GF}	299~320	発行年 ^{GE}	2	0	0	7	巻号 ^{GD}	7
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要^{EZ}

This study examined the relationship between the adaptive management of nature and the adaptive management of society by conducting a field research on the Common Reed (*Phragmites australis*) in the Kitakami River mouth area of Miyagi Prefecture and the Iwaki River mouth area of Aomori Prefecture, both located in Northern Japan.

This study found the following:

1. Historical organizations and local society regulations play crucial roles in the management of the local environment.
2. Nevertheless, these societal institutions are prone to change. The changes in actors, organizations and environmental regulations are a reflection of social change.
3. Conflicts on environmental management have recently occurred among actors with different environmental attitudes.
4. Nevertheless, actors with different attitudes can arrive at a consensus on the technical aspects of environmental management.
5. Environmental governance needs monitoring of the social system — or social scientific monitoring. Social monitoring involves monitoring (a) the effect of social change on the local people's participation in the local environment and (b) the change in social institutions and people's attitude toward nature.